



和歌山大学附属図書館メールマガジン

第3号

平成18年4月1日

図書館からのお知らせ

ブラウジングコーナー（図1）及びラウンジ（図2）の椅子及びテーブルが新しくなりました。雰囲気もぐっと明るくなり、憩いの場として大いにご利用ください。（オンリー・ワン創成プロジェクト経費（学生支援経費枠）などにより整備ができました。）



図1：ブラウジングコーナー



図2：ラウンジ

朝日新聞記事データベース”**聞蔵 ビジュアル**”が、和歌山大学構内に設置しているパソコンを利用して、図書館のホームページから見る事ができます。このデータベースは、朝日新聞本紙・地方版、週刊誌「AERA」「週刊朝日」および知恵蔵が収録されています。データは毎日更新され、当日の朝7時頃にはその日の朝刊記事が検索可能です。

- ・1945年～1984年 戦後紙面データベース（キーワード入力や分類から調べて、紙面イメージで閲覧できます。）
- ・1984年～現代 現代テキストデータベース（キーワード入力や発行日から調べて、記事テキストや切り抜きイメージを閲覧できます。但し、切り抜きイメージは2005年11月以降となります。）

図書館のホームページはこちら

<http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/>

ホームページのリニューアル

すでにお気づきの方も多いと思いますが、この度、図書館のホームページをリニューアルしました。分かりやすく、すっきりしたホームページになったと思います。

今回のリニューアル作業は、システム工学部デザイン情報学科の原田先生、松延先生のアドバイスとご協力の下で、大学院システム工学研究科院生の西田君が担当してくれました。また、北村先生にも貴重なアドバイスをいただきました。

関係の皆様、ありがとうございました。



コーナー紹介

「シラバスコーナー」を紹介します。

各学部・研究科のシラバスに掲載されている参考書を配架しております。

シラバス図書一覧は、この URL でご覧できます。-> <http://www.lib.wakayama-u.ac.jp>



出版賞・著述賞を受賞して

昨年9月に感性工学会出版賞、日本知能情報ファジィ学会著述賞をいただいた「ラフ集合と感性」(海文堂)、「デザインと感性」(海文堂)をご紹介します。

まず、約2年前に出版され、日本知能情報ファジィ学会より著述賞をいただきました「ラフ集合と感性」についてご紹介します。本書は、2004年度に感性工学会より出版賞もいただきました。和歌山大学からは、私と3人の院生(当時)も執筆に加わっており、さらに我々4人だけで、同時に発売された「ラフ集合ソフトウェア」(腹売)の開発も行いました。このソフトウェアは、本書の中で使用方法が紹介され、また本書中の例題を分析する際にも用いられており、書籍とソフトウェアがセットとなったかたちです。

今日、ラフ集合という数学の一分野が注目されています。そもそもラフ集合は、1982年にポーランドのZ.Pawlak教授により提唱されました。日本国内では80年代終わりから一部の研究者によってラフ集合に関する研究が行われ、論文はいくつかのジャーナルに掲載されるようになりましたが、日本語で書かれた関連書籍は未だ出版されておりませんでした。我々のように方法論を研究し、それを学生に教育する立場の者にとっては、ジャーナルだけでなく、基礎から分かりやすく書かれた書籍はなくてはならない存在です。そこで、書籍がないことを嘆く前に、自分たちで執筆しようということになり、著されたのが本書なのです。執筆のために集まった研究者の多くは、数学関係者ではなく、元はデザイナーという実学を重視した研究者達です。そのこともあり、本書は大学1,2年生や久しく数学の勉強から離れている社会人にもラフ集合を容易に理解してもらえることを目的としました。よって、数式を極力用いず、図表や身近な例を多用し、平易で分かりやすい説明を心掛けました。そのお陰か、書籍、ソフトウェアとも大変好評をいただいております。研究者だけでなく、様々な大学や高専の学生さんからも多くの反響をいただいております。

次に、約1年前に出版され、感性工学会より出版賞をいただきました「デザインと感性」についてのご紹介です。本書には、そのタイトル帳り、感性工学の観点からデザイン方法論を捉え直し、デザイン系大学生のためのデザイン方法論入門書にしようという目的がありました。また、全章を帳じて、IT技術をいかにデザイン方法論に応用するかについても詳しく書かれております。私は9章「デザインのデジタル化」を執筆担当し、企業のデザイン組織で利用されている最先端の技術も含めて、デジタル化時代のデザイン方法を紹介しました。本書も大変好評をいただいております。今春、韓国国内で韓国語版としても出版されることになりました。

さらに、「ラフ集合と感性」、「デザインと感性」の装丁デザインは、私の研究室の学部生(当時)が行いました。これにより、私にとっては、さらに思い入れのある著書となりました。学部を問わず、学生の皆さんで、将来、企業の中で商品企画などをやってみたいと思う方は、是非お読みいただきたい著書2冊です。

(システム工学部教授 原田利宣)



図書館職員の声

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの学生生活に図書館をご活用ください。私は昨年の12月から図書館カウンターにいるものです。未だ不慣れなことで、皆さまにご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、よろしくお願いたします。

さて、約4ヶ月間カウンターにおりますと、和大学生の皆さんは、やはり勉強の資料の利用が多いように感じられます。勉強の息抜きにこんなお話はいかがでしょう？

J・K・ローリング著『ハリー・ポッター』

11歳の誕生日からはじまる、ホグワーツ魔法学校での生活。作中の百味ビーンズとカエルチョコは一度食べてみたいものです。

C・S・ルイス著『ナルニア国ものがたり』

タンスを開くと、永遠の冬でした。第二次世界大戦中イギリス郊外へ疎開したペベンシー4兄弟の異世界での冒険と成長。プリンよりもタルトやパイのほうが、冬のおやつっぽいと思いませんか？

アーシュラ・K・ル＝グウィン著『ゲド戦記』

2006年7月公開予定のアニメの原作。アニメは3作目をベースに作られるそうなので、公開前に1作目「影との戦い」、2作目「こわれた腕輪」を読んで予習です。

J・R・R・トールキン著『指輪物語』

世界三大ファンタジーのひとつ、壮大な物語なので映画を見てから原作にあたるのも楽しみ方の一つではないでしょうか。DVDは図書館でご覧いただけます。

(附属図書館情報サービス係)

新着図書情報



「生協の白石さん」

白石昌則、東京農工大の学生の皆さん著

単行本：381p；19cm

出版社：講談社． 2005.11

価格：1,000円

請求記号：049|||SM

所在：学生用図書コーナー（2階）

東京農工大生協の「ひとことカード」に寄せられる「牛を置いて」「梅ねり始めてください」など要望やユニークなメッセージに、誠実で機知に富んだ回答をしてくれる生協の白石さん。その心温まるやりとりの記録がついに単行本化。おかしくて癒される、学生と白石さんとのコミュニケーション「ひとことカード」の傑作選。

附属図書館蔵書検索システム利用のポイント

- 1.対象 : 本学図書館に所蔵登録されている図書(視聴覚資料含む)、雑誌
現在、図書 68万冊 雑誌 5,600種
- 2.探し方 : 図書の場合、書名、著者名、出版者(社)、件名、ISBN、請求記号
雑誌の場合、雑誌名、出版者(社)、ISSN(但し、個々の論文タイトル、論文著者は検索できません。)

3.検索の流れ

検索画面選択

- ・簡易検索(情報が漠然としている場合) 詳細検索(情報が分っている場合)

検索語入力・検索

- ・キーワードは確実な単語で(長い書名での検索は全て入力する必要はないです。)

- ・単語の組み合わせで行う検索(記号使用してもよい)

AND検索(論理積) 「&」(空白:スペースは不可)

OR 検索(論理和) 「|」

NOT検索(論理差) 「!」

- ・先頭の単語がわかっている場合は、該当語の前に「>」を付けます。

検索結果表示

書誌・所蔵情報(配架場所)の確認

ヒットしたら必ず所蔵情報まで見ます(保管、貸出中、禁帯等表示あり)

配架場所

館内案内図参照

4.簡易検索の使い方

何かに関する図書を探す(テーマで探す) キーワード検索で

(書名、著者情報以外に件名で多くのヒットする場合があります。)

5.詳細検索の使い方

ある程度検索対象の情報(書名、著者、出版者・・・)が分っている場合

各項目(書名、著者、出版情報など)の組み合わせで探す場合

著者名(その人物の著作を探す場合)

その人物に関する著作を探す場合 キーワード検索で

請求記号(分類記号)で探す場合 NDCの利用

6.その他

(1)雑誌論文を探したい場合

データベース検索、CD-ROMコーナー、参考図書コーナーで調査をします。

(2)学外の所蔵情報を知る場合

全国大学図書館(等)所蔵情報(NACISIS-WEBCAT/WEBCATPLUS)

国立国会図書館所蔵情報

コンソーシアム図書館蔵書検索(県内の図書館の蔵書情報が一括検索できません。)

//編集後記//-----

新入生の皆様、入学おめでとうございます。

図書館では、皆様とのコミュニケーションを図っていきたいと思っております。どんな些細ことでも結構ですので、ご質問、お問合せ、ご感想等を 1 階カウンター又は、下記アドレスまでお寄せください。良き交流の場にしていきたいと願っておりますので、よろしくお願いいたします。(スタッフ一同)

編集・発行：和歌山大学附属図書館

TEL：073-457-7903

FAX：073-457-7919

e-mail：unyo@center.wakayama-u.ac.jp


